

インフルエンザの流行も過ぎ去って、嘔吐や下痢を伴うウイルス性の胃腸炎が大流行中です。お父さんやお母さんも罹ってしまって、大変ということが多く聞かれます。溶連菌感染症も流行していますので、人ごみに出るときには注意しましょう。

4月というと新しい世界への旅立ちがみられる月です。私のところの長女も、大学に合格して春からは茨城県民になる予定。砂漠に花を咲かせる研究をするのだそうです。旅立ちの支度は嬉しいけれど、いなくなってから初めていることの大切さを家族も本人も知るのがかもしれません。お父さんが一番悲しむかもしれませんが・・・というわけで、4月中はちょっとボーっとしているかもしれませんので、変に思わないでください。

クリニックに通う子どもたちも家族の転勤で新しい土地へという方が今年はなぜか多いようです。せっかく馴染んだ小児科を変えるというのは子どもにとっても親にとっても辛いことです。転勤するときには、良い小児科を教えてくださいとよく聞かれますが、なかなか答えには苦しみます。説明がしっかりしていて、薬の量も少なく、適切に抗生剤を使うというのがひょっとしたら良い条件なのかもしれませんが、そういうところはきっと混んでいるに違いありません。人間、たとえ医者でも混んで余裕がないときには、説明をしっかりというのは難しくなるのかもしれませんが、ドクターショッピングは感心しませんが、良い小児科医にめぐりあう旅は私も歓迎します。

タイトルに新しい想いを胸にと書きましたが、クリニックの新しい想いは病後児保育を開始することです。クリニックの周辺に住むご家族はご夫婦で働いているという方が多くおられます。子どもが病気になって回復期に入ったけど、もう少し休ませたい、でも職場のことを考えると休んでばかりもいられないという状況になられた方は多いのではと思います。そんなお子さんをお預かりする別棟を準備中です。詳しくはクリニックまでお尋ねください。来月には病後児保育の様子も伝えられるかもしれません。